

2月定例会から議会中継が始まります

議会改革も一歩前進しました。江田島市議会では、平成23年6月に設置された議会改革特別委員会から『開かれた議会』を目指して議会中継の検討を始めました。平成26年度の議会報告会では、『議会中継もしくは録画をぜひ公開して欲しい』という声があり、その後も議会運営委員会で継続協議してきました。平成30年度予算で議会中継に関する経費が計上され、昨年10月にカメラ等の機材を設置し、12月定



例会で試験運用されました。いよいよ、今年2月定例会から本会議の中継および録画配信を開始します。パソコン、タブレットやスマートフォンでライブ中継を視聴

江田島市国際交流協会の設立

12月16日に江田島市国際交流協会が設立されました。当日は法人・団体および個人会員の総勢約120人が出席し、会長に明岳市長が就任しました。なぜ、このたび国際交流協会を設立したのかという理由として、多くの市民の皆さんの記憶にある前の平成25年3月14日に中国人の技能実習生による江田島町切串の事件がありました。この事件により、外国人が住んでいくの外

することができるようになります。また、その後は一般質問や議案審議も録画で見ることができ、臨場感あふれる議会中継にご期待ください。

とが分かりました。平成26年3月時点では576人、そして平成30年は約700人の外国人市民が江田島市に在住しており、100人に3人が外国人市民ということになりました。このことから、数年前だった中国が半分を占めていたが、現在では、ベトナム、フィリピン、中国の順になっています。日本に来ている外国人市民の皆さんは、江田島の主要な産業であるカキ養殖業や造船業など、さまざまな場所で働き、

平成30年	日本人	外国人	合計	比率
1月	23,318	764	24,082	3.17%
2月	23,260	762	24,022	3.17%
3月	23,189	754	23,943	3.15%
4月	22,853	741	23,594	3.14%
5月	23,029	747	23,776	3.14%
6月	22,988	754	23,742	3.18%
7月	23,069	726	23,795	3.05%
8月	23,014	709	23,723	2.99%
9月	22,970	702	23,672	2.97%
10月	22,940	697	23,637	2.95%
11月	22,885	683	23,568	2.90%
12月	22,848	689	23,537	2.93%

住んでいきます。外国人市民の皆さんと共に地域づくりをしていく多文化共生社会を築くことが大切であると認識しました。事件をきっかけに、行政を主体とした日本人市民との交流の場づくりとして、サッカーやバドミントンなどのスポーツ大会や外国の料理を一緒に作って食べるという食文化交流を行なってきました。また、日本語教室を立ち上げる目的として、平成28年度から文化

庁の地域日本語教育スタートアップ事業に採択されました。平成29年度から『ゆめタウン』1階の文化教室をお借りして、月に2回、『えたじま日本語クラブ』(日本語教室)が開催され、外国人市民の皆さんに寄り添う形で、それぞれのやりたいこと、例えば、日常会話、カタカナや平仮名の練習、漢字の練習などコミュニケーションを図っています。日本語クラブの役

役割は、①居場所、②交流、③地域参加、④国際交流、⑤日本語学習です。折しも昨年の臨時国会では、入国管理法の改正法案が可



決され、今年4月に施行されることになり、これまで以上に外国人が日本で働き、そして、住む時代が予測されます。そういった意味では、任意団体としての国際交流協会設立はタイミング的にもよかったです。来年度から行なう主な事業は、①食文化交流会、②国際交流スポーツ大会、③

外国人市民の相談、④日本語クラブ開催、⑤生活支援(リサイクル品配布他)、⑥日本語クラブ参加の日本人ボランティア育成などがあります。

江田島市にはいろいろな国籍の外国人市民がいます。彼らも日本語は学んできていますが、共通言語として、『やさしい日本語』がキーワードです。分かりやすいという小学校低学年でもわかる日本語です。例えば、『避難所』は『逃げるところ』、『給水所』は『水を配るところ』など。遠く外国から来た外国人市民も、道端で出会ったとき、『こんにちは』と声をかけると笑顔で応えてくれます。ぜひ、多くの日本人市民の皆さんが日本語クラブに来て、外国人市民の皆さんと触れ合っていただければと思います。

9月定例会一般質問

給水活動の検証は

【胡子】合併以来、最大級の災害であり、併せて県の送水トンネルへの土砂流入による原水供給の機能停止に加え、木下川のはん濫による高水系の機能停止により、市内全域が断水となり、市民生活に多大なる影響を及ぼした。豪雨災害を教訓に防災のあり方を検証することが重要。断水による給水活動等についての課題は、【市長】発生当初、8か所の給水拠点しか設置できなかった。第2次水道ビジョンにおける災害時の給水拠点を20か所としたが市内全域で断水となったため同時開設は困難であった。今後の給水拠点は駐車場スペースや利便性を考慮した場所に

変更したい。【胡子】自己水源が乏しいなか、災害時の井戸水マップを作成しては。【市民生活部長】今後研究させていたいただきたい。【胡子】災害及び復旧支援の情報発信は。【市長】避難所開設や避難勧告は防災行政無線や防災メール、防災ツイッターで発信。災害の全体概要や支援制度及び手続き

きは市HPやフェイスブックほか市広報紙やチラシを活用。情報の伝達不足や分かりにくさを起因とする大きな混乱は発生しませんでした。災害情報はより速報性・より正確性の高い情報発信の手法を検討します。

【胡子】市及び市教委の新たな支援策として①高校の魅力向上、②高校の魅力PR、③生徒の募集活動の3点を強化する方向性を示したが、具体策は。【市長】大柿高校の存廃は教育環境の整備や定住促進に大きな影響を及ぼす。高校と連携を図りつつ、必要な支援策を積極的に取り入れ、存続に向けて全力で取り組めます。

大柿高校への新たな支援策の方

【教育長】魅力化コーディネート、魅力アップ向上策、中高の連携促進、市内外の関係機関の調整役を担い、高校の魅力を引き出し、PR業務も信じてPR業務も信じています。その他の支援として台湾への修学旅行の経費、英語技能検定の補助、部活動指導者招聘への支援なども取り組みたいです。



【胡子】市及び市教委の新たな支援策として①高校の魅力向上、②高校の魅力PR、③生徒の募集活動の3点を強化する方向性を示したが、具体策は。【市長】大柿高校の存廃は教育環境の整備や定住促進に大きな影響を及ぼす。高校と連携を図りつつ、必要な支援策を積極的に取り入れ、存続に向けて全力で取り組めます。